

日本医史学会会則抄

第一条 この会は、日本医史学会 (Japan Society of Medical History) とす。

第二条 この会は、事務所を〒113 東京都文京区本郷二―一―一 順天堂大学医学部医史学研究室内におく。

第三条 この会は、医史を究研しその普及をはかるを目的とする。

第四条 前条の目的を達成するために次の事業を行う。

(1) 學術集会、その他講演会、學術展観の開催等

(2) 機関誌「日本医史学雑誌」「日本医史学会会報」および関係図書等の刊行。

(3) 日本の医史学界を代表して、内外の関連學術団体等との連携

(4) その他前条の目的を達成するために必要な事業

第五条 この会の会員は次のとおりとする。

(1) 正会員

この会の目的に賛同し会費年額五、〇〇〇円を納める者ただし、外国居住者は年額30ドルとする。

(2) 名誉会員

この会に対し功績顕著であつた者で評議員会の議決ならびに總會の承認を得た者。

(3) 賛助会員

この会の目的事業に賛助し会費年額一〇、〇〇〇円以上を納

める者、または団体。

第六条 正会員になろうとするものは評議員の紹介により、理事長の承認を得て入会金二、〇〇〇円およびその年度の会費を添えて所定の入会申込書を提出しなければならない。

第七条 名誉会員は次の各号の何れかに該当し理事会、評議員会が功績顕著と認めた者であることを要する。

(1) 三十年以上の在籍正会員であつて七十歳に達した者。
(2) 前理事長。

(3) 正会員または外国人で功績顕著な者。

名誉会員は終身として会費を免除することができる。

第八条 賛助会員になろうとする者も第六条に準ずる。

第九条 第六条及び第八条の会員の資格取得は会費納入日より始まる。

第十条 会員には次の権利がある。

(1) この会の発行する機関誌の無償配布をうけること。

(2) 機関誌に投稿すること。

(3) 總會、學術大会、學術集会その他の事業に参加すること。

第十一条 会員は、会費を前納し總會の議決を尊重しなければならない。

第十二条 会員は次の事由によってその資格を失う。

(1) 退会

(2) 会費の滞納が一年以上を経過したとき。

(3) 禁治産、準禁治産または破産の宣告。

(4) 死亡、失踪宣告または会員である団体の解散。

(5) 第十四条による除名処分。

第十三条 この会には、年一回学術大会を主宰するために会長を一名おく。

1 この会は学術大会を毎年一回開催し、学術集会は随時開催する。

2 会長は、理事会の推薦により、通常総会毎に理事長が委嘱する。

3 会長の主宰する学術大会は、この会の通常総会と同時点で開催することを原則とするがやむを得ない事情のある場合は評議員会または総会の承認を得て変更することができる。

4 会長の任期は、学術大会を議決した通常総会の翌日から次の学術大会を終了するときまでとする。

5 会長は必要に応じ理事会に出席しこれと密接な連絡のものにと計上予算を勘案して企画運営する。

6 会長に事故あるとき、または欠けたときは新たに会長を委嘱するまで理事長がその職務を代行する。

7 会長は、学術大会関係事務を委嘱するために、会員のうちから学会委員若干名を選任することができる。

8 学術集会は、随時理事長主宰のもとに開くことができる。

文部省科学研究費学術定期刊行物補助金を受ける

本誌は昨年度にひきつづき文部省の科学研究費補助金の交付を受けて刊行している。

『日本医史学雑誌』投稿規定

一 投稿資格

原則として本会会員とし、内容は他誌に未発表のものに限る。

二 原稿の採否

原稿の審査は編集委員会の委嘱した審査委員が行い、採否および区分（原著・総説・研究ノート・資料・書評等）は編集委員会で決定する。

三 執筆要項

a 原稿は二〇〇字または四〇〇字詰め原稿用紙に縦書のこと。

b 原著・総説・研究ノートの場合は、和文の表題、著者名のつぎに欧文表題、ローマ字著者名を記し、原稿においては欧文抄録（一〇〇〜二〇〇語）を添えること

c 難字は欄外にもかい書で別記すること。
d 外国人名や外国地名はよく知られたもののはかは、初出の個所にその原綴り、またはローマ字転写を示すことが望ましい。

e 論文の末尾に著者の所属または連絡先を記載すること。

f 図表は明瞭に書き、挿入位置を原稿中に明示すること。
g 写真は原則として白黒の紙焼きとし、挿入位置を原稿中に明示すること。また写真の裏には著者名、図表番号、天地を明記すること。

h 欧文論文はダブルスペース（一行おき）でタイプし、